



青森総合卸センターニュース

編集・発行 協同組合青森総合卸センター 〒030-0131 青森市問屋町2丁目17-3 ☎017-738-4711 FAX017-738-7323
URL <https://www.tonyamachi.com> E-mail info@tonyamachi.com 発行/2025年4月30日

交通死亡事故ゼロ一万日を達成 青森交通安全協会問屋町支部

青森交通安全協会問屋町支部（工藤支部長）並びに当組合が取り組んできた「問屋町内交通死亡事故ゼロ推進運動」が、2025年3月14日（金）をもって悲願の交通死亡事故ゼロ一万日を達成した。

一萬日達成を記念して3月17日（月）に、「問屋町内交通死亡事故ゼロ推進運動」決起大会を開催。問屋町会館で開かれた決起大会では、青森



「問屋町内交通死亡事故ゼロ推進運動」決起大会

警察署及び青森交通安全協会連名で表彰状が贈られた。

1986年（昭和61年）7月からスタートした同活動は、残念ながらこれまで3度ほど千五百日達成を目前に記録がストップ。4度目の挑戦となった今回は、1997年（平成9年）にスタートして鬼門の千五百日をクリアすると、2千日、3千日と順調に記録を更新。このたびは28年で大きな節目となる一万



問屋町ロゴ入り紅白一口饅頭



工藤支部長（右）に表彰状が手渡される

このほか達成記念事業として、日の大記録を達成した。決起大会で工藤支部長は「会員事業所が一丸となり、問屋町内交通死亡事故ゼロ一万日を達成するため交通ルールを遵守する」と記録更新を誓った。その後、青森警察署の最上警部補が講演を行い、同署管内の交通事故の特徴や飲酒運転根絶に向けた取り組みなどを紹介し安全運転を呼びかけた。

て会員事業所に紅白一口饅頭を従業員の数分配付し、記録達成を祝った。

また、3月24日（月）には、同支部が行う問屋町交通安全無事故・無違反コンクールの抽選会が問屋町会館で行われた。今回のコンクールには30社から69チームが参加。58チームが無事故・無違反を達成した（達成率84.1%）。抽選の結果、(株)ゆうネットが最優秀ドライバー賞を受賞した。



ビジネススクール特別講演会

問屋町ビジネススクールでは、3月5日（水）に問屋町会館において特別講演会を開催した。「売れる会社がやっているたった四つの商売繁盛の法則」と題した講演会の講師は、商い未来研究所の笹井代表を務めた。会場受講とオンライン受講を併用して行われた講演会は、合わせて30名が受講した。

笹井講師は「消費者ニーズの変化に対応するためには、従来のマーケティング法則の4P（製品、価格、流通、販促）の枠組みを超えた新しいアプローチが必要」と説明。繁盛する店に共通する四つの特徴として①商いの「哲学・理念」の確立②「物語性豊かな商品」

商売繁盛の法則を紐解く ビジネススクール特別講演会



無事故・無違反コンクール抽選会

問屋町交通死亡事故ゼロ一万一千日達成に向けて、安全運転の励行を呼びかけるとともに、無事故で安全な問屋町を目指して引き続き啓蒙活動を行っていく。

第 10 回 理事 会

2024年度第10回理事会が3月28日(金)に問屋町会館で開かれ、審議の結果、全て原案どおり承認された。

また、事務局からは2024年度決算予想などについて報告した。

主な案件審議は次のとおり。

案件一・令和7年度卸商業団地構造変化等対応支援事業への応募について

案件二・2024年度保証基金の精算について

案件三・2025年度第1回監査会及び理事会の日程等に

最新の税制改正を学ぶ 第3回税務研修会

3月10日(月)に問屋町会館1階会議室において第3回税務研修会が開催された。青森法人会と共催で開催された研修会では、青森税務署の岩本審理専門官が講師を務め、組合員従業員ら17名が参加した。

今回は「令和7年度税制大綱のポイント」をテーマに説明がされた。個人所得税では物価上昇局面における調整として、基礎控除が48万円から58万円に引き上げられ、給与所得控除の最低保障額も55万円から65万円に増額。また、



税務研修会

19〜22歳の特定扶養親族に対する特別控除が創設され、最大63万円が適用されることとなった。その他、法人税では中小企業の軽減税率が2年間延長されるなど税制の変更点を中心に学んだ。

組合の定款改定等を説明 組合員屋食会

組合員屋食会が3月6日(木)に問屋町会館2階大会議室で開催され、組合員従業員ら51名が参加した。

はじめに、青森県中小企業団体中央会の船水事務局長と組合の成田総務部長が当組合の定款及び諸規約等の改定について説明をした。



組合員屋食会

理事会終了後には、青森問屋町配送(株)の第3回取締役会が開催され提出案件が全て原案どおり承認された。

組合の定款については前回改定から15年が経過しており、時代の変化とともに実情に合わない内容が見られるため、県中央会指導のもと全面的に見直しを行うことになった。

組合の社会貢献活動を紹介

(社福)青森県社会福祉協議会が3月12日(水)にウェディングプラザアラスカで社会貢献活動推進説明会を開催し、組合の西田業務部長がフールドライブの取り組みなどを紹介した。

同協議会では市民や企業・団体で支え合う取り組みを推進しており、制度の狭間の困窮者支援や子ども食堂などによる居場所づくり、フードバンク活動など、様々な形による地域で助け合えるネットワークづくりに取り組んでいる。今回の説明会は、つながり



社会貢献活動推進説明会

(社福)青森県社会福祉協議会が3月12日(水)にウェディングプラザアラスカで社会貢献活動推進説明会を開催し、組合の西田業務部長がフールドライブの取り組みなどを紹介したほか、組合が各々の社会貢献活動の取り組みを紹介したほか、組合を含む6つの県内企業・団体が

や支援の輪をより広げていくことを目的に開催。説明会では、協議会の多岐にわたる取り組みを紹介したほか、組合が各々の社会貢献活動の取り組みを紹介したほか、組合を含む6つの県内企業・団体が

次に、組合の小田切事務局長が卸団地景観再整備計画について説明した。

組合が行った団地内インフラ調査の結果、街路樹によって歩道の劣化や夜間照度の低下等が引き起こされていることが判明。これを受け、2025年度に問屋町地区の枝線道路南北ライン、他ラインの銀杏付き街路樹計222本を伐採・伐根・撤去の上、アスファルト舗装を行う。また、新たな卸団地の景観づくりとして(株)限研吾建築都市設計事務所

にデザインを依頼し、街路樹・まちなみリノベーション計画としてストリートファニーチャイ設置を進めていく。

最後に、県中央会の船水事務局長が、中小企業省力化補助金及びモノづくり補助金について紹介した。

事務局職員が中小企業組合士試験に合格

3月3日(月)、中小企業組合士検定試験の合格者が発表され、受験した堀内職員と後藤職員が見事合格した。

同検定は、中小企業組合の事務局職員が職務を遂行する上で必要な知識に関する問題が出題される。試験に合格し、かつ3年以上の実務経験を有する者は、中小企業組合士として認定される。

産業廃棄物・一般廃棄物収集運搬業

快適な環境作りに奉仕する

三協クリーンサービス株式会社

〒038-0023

青森市大字細越字栄山555-1

TEL 017-739-6426 FAX 017-739-1612

一般区域貨物運送業

輸送のことなら信頼と実績の

三協運輸株式会社

〒038-0023

青森市大字細越字栄山555-1

TEL 017-739-1611 FAX 017-739-1612

今号から、昨年12月の健康事業10周年シンポジウムでパネリストとして参加した組合員3社の健康経営への取り組みを紹介していく。

1回目は(株)マツダアンフィニ青森の小山田課長にお話を伺った。

主にマツダ車の販売や整備を手がける自動車ディーラーの同社が、健康経営に取り組んだきっかけは、「長時間労働の是正」であった。

小山田氏は「特に整備職の長時間労働が慢性化していて、労働時間と社員の健康は密接に関係していると考え、まずは長時間労働の是正を目的に健康経営に取り組み始めました」と当時を振り返った。

同社では健康経営への導入と

健康経営実践企業訪問

して協会けんぽの「健康宣言」登録制度を活用。①敷地内禁煙 ②月1回のノー残業デー設定 ③社員一人一人に自身の生活習慣改善に関する健康宣言をしてもいい事務所に掲示の3項目を宣言し、取り組みを始めた。その他、労働時間の目標設定や業務内容の定観測で業務を可視化することで労働時間の短縮に



賑わう社内スポーツ大会

また、健康経営を進めていくには社員の意識改革も大切と考え、「社内スポーツ大会の開催やインフルエンザ予防接種補助金支給、全社員対象の健康講話などを行い健康への意識を徐々に高めていきました。スポーツ大会への参加ははじめる頃は消極的な社員も多かったのですが、最近では今年ほどの種目をやるのか聞いてくるほど楽しみにしてもらえるイベントに変わってきました。インフルエンザ予防接種の受診率も向上するなど、社員が自分事として会社で実施する健康経営の取り組みに興味を持ち始めてきていると感じます」と社内の変化を語った。

今抱えている課題に話が及ぶと「やはり喫煙者がまだまだ多いことです。禁煙外来補助金制度を設置するも未だ利用者は0人で、喫煙者が1人でも減る方

策に取り組んでいきたいです」と話す。

今後の健康経営の取り組みを伺うと「当社は「社員の物心両面の豊かな生活」を企業理念に掲げております。こころの健康づくりをメインに、これからも継続して心身ともに健康になれる環境づくりをしていきたいと考えています」と笑顔で語った。



全社員対象の健康講話

2025年度集団健康診断 日程のお知らせ

区分	開催日時(受付時間)	実施団体
第1回	6月10日(火) 11日(水)★ 12日(木) 各日 8:30~11:30 13:00~14:30	(一社) 青森地区労働基準協会 (一財) 全日本労働福祉協会 青森県支部
第2回	7月 9日(水)★ 8:30~11:30	//
第3回	8月 1日(金)★ 8:30~11:30	//
第4回	9月 8日(月) 8:30~11:30	//
第5回	10月14日(火) 15日(水)★ 16日(木) 17日(金) 各日 8:00~11:00	(公財) 青森県総合健診センター

※協会けんぽの生活習慣病予防健診を受診できるのは下記の日程のみとなります(★マーク)
6月11日(水)、7月9日(水)、8月1日(金)、10月15日(水)
※第5回集団健康診断では簡易健診(35歳未満及び36~39歳を対象とし、腹囲、心電図検査、血液検査除く定期健診)が廃止となったため、簡易健診の受診を希望される方は第1回~第4回で受診ください

第58回通常総会 開催のお知らせ

①日時 2025年5月26日
(月)午後4時30分
②会場 ホテル青森
3階「孔雀の間」

業務報告

主要事項

3月
3日▽第5回景観再整備検討
ワーキング委員会
6日▽組合員昼食会
7日▽問屋町経営同友会第39
回会員交流会

問屋町 ビジネススクール

5日▽四つの繁盛の法則
13日▽信頼関係が築ける伝え方
18日▽財務諸表を読み解こう講座
27日▽新入社員研修①
28日▽新入社員研修②

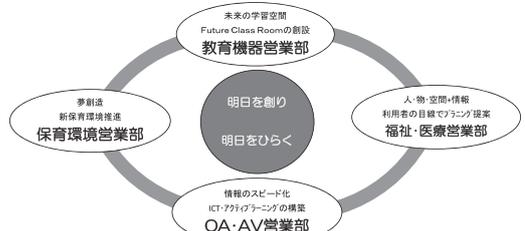
10日▽第3回税務研修会
14日▽金融審査会
17日▽安協問屋町支部問屋町
内交通死亡事故ゼロ一万
日達成記念決起大会
28日▽第10回理事会
▽青森問屋町配送(株)第3
回取締役会

豊かな住宅環境と快適な暮らしを追求します



青森支店 TEL 017-739-4551
FAX 017-739-4145

弘前・八戸・大館・仙台・秋田



株式会社 大平教材社
〒030-0113 青森市第二問屋町三丁目5番33号
TEL 017(762)3111・FAX 017(762)3130
codaira@dunee.co.jp

キングは
印刷会社の
パートナー
詳しくは キング印刷



株式会社キングコーポレーション

本社 / 〒460-0002 愛知県名古屋市中区丸の内3丁目7番23号 TEL 052-961-7661(代)
青森営業所 / 〒030-0131 青森県青森市問屋町1丁目14-4 TEL 017-764-1140(代)

全国15拠点をサポート!

暮らしと住まいの総合商社

東栄株式会社

東北支店
TEL (017) 762-3316

住設事業部 青森営業所
TEL (017) 762-3503

青森市第二問屋町3丁目3番42号

生成AIの活用方法を学ぶ
同友会会員交流会

青森問屋町経営同友会の第39回会員交流会が3月7日(金)にアートホテル青森にて開催され、会員ほか28名が参加した。

同会の河田会長による挨拶の後、「生成AIについて」をテーマに講演会を開催した。ブライオデザインの小野代表が講師を務め、ChatGPTなどに代表される生成AIについて、その種類や活用方法について紹介した。

また、小野講師は「生成AIは実際には存在しない、または誤った情報をあたかも正しいかのように出力するハリシネーション現象を起こすため、生成されたデータを鵜呑みにせず、最終的には人の目によるチェックが必要になる」と生成AIを利用する上での注意を促した。



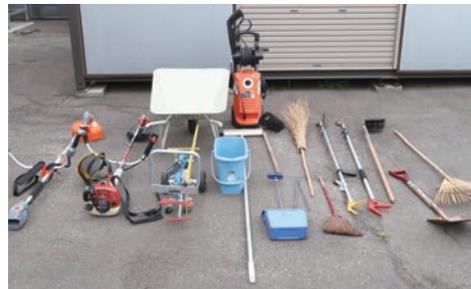
同友会 会員交流会

清掃用具をご利用ください

組合では、団地内の景観美化推進を目的に清掃用具無償貸出サービスを今年度も開始した。

同サービスでは、組合員を対象にホウキやチトリ、デレキ、高圧洗浄機、草刈り機(エンジン式・バッテリー式)、側溝泥すくい、高所用の窓拭きワイパーなど様々な清掃用具を無料で貸出している。

なお、草刈り機については消耗品であるナイロン刃、エンジン式はそれに加えて燃料が利用者負担となる。消耗品は問屋町交流ストアで購入で



貸出清掃用具一式

きる。貸出用具のカタログ及び要綱については組合ホームページにて公開している。利用申込みは卸センター業務部(後藤)まで。

団地企業訪問

今回の団地企業訪問は4月に福島から青森に赴任してきたばかりで「津軽弁に早く慣れたいです」と話す、東北アルフレッサ(株)の相澤支店長にお話を伺った。

同社は2018年10月に福島県を拠点としていた(株)恒和薬品と若手県を拠点としていた(株)小田島が事業統合し、医療用医薬品や医療用検査試薬、医療機器などを扱うアルフレッサグループの医療用医薬品等卸売事業として、東北6県に営業拠点を展開している。

「当社は『東北の地域医療に貢献し続ける』を企業理念に、東北24拠点で地域医療の



東北アルフレッサ(株) 青森支店長 相澤 拓也 氏

つなぎ役としての課題解決に取り組んでおります。青森支店では2022年8月に青森県民の健康づくりやがん対策の推進に向けて、青森県と「青森県健やか力向上企業等連携協定」を締結しました。子宮頸がん検診を定期的な受診

と「医療業界全般では薬剤原料の高騰などから薬の品薄状態が続いています。このような状況下でも、当社ではお得意先様へ安定した流通を確保しながら商品をお届けできることを大前提に、メーカーから仕入れた商品に関する研修を定期的に行い、MSM(マーケティング・スペシャリスト)がより広い範囲で質の高い医薬品情報、医療機関のニーズに即したサービスをお届けします」と話

向けて支援しています。今後は治療の対処が遅れると後遺症の苦しむ可能性のある帯状疱疹のワクチン定期接種などもPRしていきたいと考えています」と

自身の今後の目標について聞くと「働きやすい環境が従業員により良い仕事へ繋がると考えているため、まずは支店全体で

働きやすい環境を整備していきたいと思っています。あとは冬になったら雪道の運転や歩行に慣れないといけませんね」と答える。

宮城県出身の同氏に青森の印象やプライベート面について尋ねると「青森は住みやすくて、ご飯も美味しいです。煮干しラーメンはあっさりです。煮干しを振ったが濃口はまだです。勇気を振り絞って10回くらいに挑戦してみます。休日にはいろいろと観光してみようと思っております。まだ訪れたことがない下北や八戸方面に行ってみたいです。単身赴任なので一人で倒れないように健康面に気を付けたいです。ね」と話す相澤支店長は常に謙虚な気持ちを忘れないよう心掛けています。(43歳)

編集後記

問屋町内交通死亡事故 故ゼロ推進運動が一万日を達成しました。これを通過点として、引き続き安全運転をお願いいたします▼さて、問屋町にクラブチームを置くラインメール青森FCの2025年シーズンが始まりました。1995年に設立した当チームは、今季創立30周年を迎えます。クラブ理念は、サッカーを通じて、もっと豊かな地域づくりを目指し、悲願のJ3昇格を指して熱い戦いがスタートします。メインスポンサーが組合員の東和電材(株)ということもあり、当組合もしっかり応援していきたいと思えます▼では、J3に昇格するには何が必要なのでしょう。単に現在所属しているJFL(日本フットボールリーグ)で優勝するだけではダメで、ホーム戦における1試合平均入場者数が2千人を超えることが必要です。順位が2位の場合は、J3の最下位チームとの入替戦に勝利する条件もあります▼ホーム戦は15試合、1試合2千人なので、延べ3万人の来場者が必要で、J3になるとよりハイレベルな試合を、ここ青森市で楽しむことができるようになります。何よりそういった試合を子供たちが身近に体験できる環境ができることは嬉しいこと

東北の地域医療に貢献し続けます



東北アルフレッサ株式会社

代表取締役社長 内田 信也

郡山本社 / 郡山市喜久田町卸一丁目46番地1
仙台本社 / 仙台市若林区卸町四丁目8番5



物流界のトップランナー

株式会社 ライフサポート・エガワ東北

物流界に求められるあらゆるニーズにスピーディーにお応えするそれが、ライフサポート・エガワ東北です。

共同配送サービス
PLサービス
物流コンサルティングサービス
アウトソーシングサービス
倉庫管理サービス

青森支店
〒030-0131 青森市問屋町一丁目6-11
TEL 017-763-5007 FAX017-763-5008